



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 仙波糖化工業株式会社

コード番号 2916 URL <https://www.sembatohka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 光夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長兼 営業管理本部長 (氏名) 田中 明子 TEL 0285-82-2171

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,272	0.5	234	△46.3	417	△9.9	359	12.2
2022年3月期第2四半期	9,222	—	435	—	463	—	320	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 858百万円 (31.9%) 2022年3月期第2四半期 650百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	31.58	—
2022年3月期第2四半期	28.14	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,297	11,989	49.7
2022年3月期	21,556	11,301	48.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,083百万円 2022年3月期 10,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	5.9	450	△39.6	620	△30.8	480	△11.1	42.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	11,400,000株	2022年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	16,191株	2022年3月期	16,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	11,383,809株	2022年3月期2Q	11,383,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動が平常に戻りつつある一方で、ウクライナ情勢長期化に伴う原油価格や原材料価格の高騰、日銀の大規模な金融緩和策継続による急速な円安の進行などで、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、外食需要に持ち直しの動きが見られるものの、大幅な燃料価格や原材料価格の上昇で、経営環境の厳しさが増しております。

このような状況下、当社グループは、全社を挙げて顧客ニーズにマッチした新商材の開発強化や値上げ対応を進める一方で、海外市場開拓に注力してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は92億72百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

製品の種別別売上高では、カaramel製品は、国内需要が回復基調に転じ、海外市場の取り込みも始まり、19億87百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。乾燥製品類は、粉末調味料が堅調で、28億20百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が大幅に減少し、21億42百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。冷凍製品は、外食向け冷凍山芋の需要が回復し、17億68百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。その他は、子会社の受託加工が増加し、5億54百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

利益面につきましては、ユーティリティコストの大幅上昇を主因に、営業利益は2億34百万円（前年同四半期比46.3%減）、経常利益は4億17百万円（前年同四半期比9.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億59百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、109億50百万円（前連結会計年度末は107億87百万円）となり1億62百万円増加しました。その主なものは、受取手形及び売掛金の増加（3億50百万円）、その他の増加（2億15百万円）、現金及び預金の減少（3億40百万円）等であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、113億46百万円（前連結会計年度末は107億68百万円）となり5億78百万円増加しました。その主なものは、投資有価証券の増加（4億4百万円）等であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、75億45百万円（前連結会計年度末は74億12百万円）となり1億33百万円増加しました。その主なものは、短期借入金の増加（88百万円）等であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、27億62百万円（前連結会計年度末は28億42百万円）となり79百万円減少しました。その主なものは、長期借入金の減少（1億42百万円）等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、119億89百万円（前連結会計年度末は113億1百万円）となり6億77百万円増加しました。その主なものは、その他有価証券評価差額金の増加（2億79百万円）、利益剰余金の増加（1億88百万円）等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億40百万円減少し、29億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億94百万円（前年同四半期は8億50百万円の獲得）となりました。

これは、減価償却費4億77百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億44百万円（前年同四半期は7億54百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出2億23百万円、貸付けによる支出2億5百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億78百万円（前年同四半期は4億50百万円の使用）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出1億82百万円、配当金の支払額1億70百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想は、本日（2022年11月11日）発表のとおり修正を行っております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,313,114	2,972,726
受取手形及び売掛金	3,867,439	4,218,055
電子記録債権	68,182	77,825
商品及び製品	1,806,997	1,765,369
仕掛品	776,565	763,324
原材料及び貯蔵品	787,226	769,955
その他	169,383	384,577
貸倒引当金	△1,290	△1,408
流動資産合計	10,787,618	10,950,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,592,475	4,805,850
機械装置及び運搬具（純額）	2,361,523	2,410,849
その他（純額）	769,986	775,590
有形固定資産合計	7,723,985	7,992,290
無形固定資産	762,608	797,993
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,828	2,044,841
繰延税金資産	527,257	406,853
その他	114,182	104,970
投資その他の資産合計	2,282,268	2,556,666
固定資産合計	10,768,862	11,346,950
資産合計	21,556,481	22,297,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,291,206	2,305,458
短期借入金	3,687,543	3,775,899
未払法人税等	157,472	153,171
賞与引当金	342,474	341,668
役員賞与引当金	23,000	—
その他	910,816	969,340
流動負債合計	7,412,514	7,545,537
固定負債		
長期借入金	1,091,563	949,017
退職給付に係る負債	1,244,365	1,265,972
繰延税金負債	357,596	394,213
資産除去債務	49,510	49,553
その他	99,052	103,602
固定負債合計	2,842,089	2,762,360
負債合計	10,254,603	10,307,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	6,833,323	7,022,084
自己株式	△5,174	△5,174
株主資本合計	9,531,758	9,720,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	795,598	1,074,778
為替換算調整勘定	150,223	320,838
退職給付に係る調整累計額	△35,533	△33,036
その他の包括利益累計額合計	910,288	1,362,580
非支配株主持分	859,831	906,377
純資産合計	11,301,878	11,989,477
負債純資産合計	21,556,481	22,297,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,222,895	9,272,934
売上原価	7,151,701	7,398,809
売上総利益	2,071,193	1,874,124
販売費及び一般管理費	1,635,743	1,640,113
営業利益	435,450	234,011
営業外収益		
受取利息	4,355	7,816
受取配当金	18,473	19,427
為替差益	4,370	181,732
補助金収入	22,414	7,693
その他	30,930	8,534
営業外収益合計	80,543	225,204
営業外費用		
支払利息	38,382	33,233
その他	13,971	8,065
営業外費用合計	52,354	41,299
経常利益	463,639	417,917
税金等調整前四半期純利益	463,639	417,917
法人税、住民税及び事業税	147,910	127,053
法人税等調整額	△17,710	△8,839
法人税等合計	130,200	118,214
四半期純利益	333,439	299,703
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,131	△59,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,307	359,518

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	333,439	299,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,479	279,179
為替換算調整勘定	243,075	276,785
退職給付に係る調整額	2,580	2,496
その他の包括利益合計	317,135	558,462
四半期包括利益	650,574	858,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574,242	811,565
非支配株主に係る四半期包括利益	76,331	46,599

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463,639	417,917
減価償却費	430,240	477,003
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	54
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,087	△806
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,000	△23,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,160	25,198
受取利息及び受取配当金	△22,828	△27,244
支払利息	38,382	33,233
為替差損益 (△は益)	△360	△2,185
固定資産除却損	7,202	2,046
受取保険金	—	△6,268
売上債権の増減額 (△は増加)	△99,864	△276,567
棚卸資産の増減額 (△は増加)	350,872	124,811
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△46,343	△5,872
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,423	△89,285
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△222,447	20,800
その他	7,352	△137,359
小計	1,014,331	532,475
利息及び配当金の受取額	23,022	27,546
利息の支払額	△38,352	△34,971
保険金の受取額	—	6,268
法人税等の支払額	△148,042	△137,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	850,959	394,005

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△642,113	△223,070
無形固定資産の取得による支出	△19,399	△9,215
投資有価証券の取得による支出	△4,227	△4,334
有形固定資産の除却による支出	△4,034	△2,804
貸付けによる支出	△106,226	△205,900
貸付金の回収による収入	19,064	816
保険積立金の解約による収入	2,774	—
その他の支出	△10	△203
その他の収入	50	484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△754,122	△444,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△2,868
長期借入金の返済による支出	△255,199	△182,446
リース債務の返済による支出	△25,151	△22,826
自己株式の取得による支出	△65	—
配当金の支払額	△170,396	△170,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450,812	△378,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	57,327	88,772
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△296,648	△340,387
現金及び現金同等物の期首残高	3,240,298	3,298,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,943,649	2,957,726

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。